

全国一般愛知地本

2020年 2月号

発行 2020年 2月 27日(木)

発行責任者

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部

執行委員長： 煤本 國治

2.12トヨタ総行動開催

名駅前に多数参加



名駅ロータリー前での訴え



知崎議長による演説

風は冷たいけれども日差しは暖かい。「トヨタ総行動」と題されたトヨタ本社や名駅ミッドランドスクエア周囲での労組各団体からの訴え・デモ行進を行いました。私が参加したのは、名駅ロータリー前での訴えとその後のデモ行進です。駅前に止めたバンの上からは、大手鉄道の3兆円を超える内部留保のほんの一部で従業員の賃上げができることや、医療現場での深刻な人手不足についてなど多くの訴えを聞きました。

今回の総行動のなかで、全国一般が重点を置いたことは日本アクリルの工場閉鎖を撤回させる取り組みを多くの人に知ってもらうことでした。横断幕を掲げ通行人に訴えたところ「ダウ・ケミカル」「オリンピックトップパートナー」という言葉を目に止めていく人たちがいたと感じました。社会の力を味方につけることができれば大きな圧力になると考えています。今後もこのような取り組みを続け、ダウ・



名駅周辺でのデモ行進の様子



ビラ配りによる訴えの様子

ケミカル 日本アクリル経営者側の理不尽で不誠実なやり方を止めさせなくては、と思っっています。

(地本書記長 記)

ナトコ労組旗開き & 新春交流会開催

年が明けて、正月気分は飛んで行ったところでナトコ労組の旗開きを開きました。場所は金山の居酒屋です。日頃は、みよしと名古屋で職場が離れていることもあり、世間話から職場の情報交換などと話が弾みます。今回は組合員以外の参加もあり、労働組合の説明をしたり、労働条件を向上させる取り組みや、民間よりも有利な共済の紹介、勤労者通信大学といった学習の機会もあることを紹介したりしました。労働組合に親しむきっかけづくりにはなったかなと思います。

（ナトコ労組書記次長 記）

今、社内で組合員は、きわめて少数派です。このままでは“まずい”という気持ちもあります。ただ、仕事も忙しいし、自分のこともしたい、今のままでもとりあえず生活できるという状況で、わざわざ面倒なことをやりたくない



全国一般自世代委員会 学習交流会開催

2月8日・9日の2日間、愛知県ホテルシーパレスリゾートにて全労連・全国一般自世代委員会第12回学習交流会が開催されました。愛知県からはアクリル支部の山田卓・加藤の2名が参加しました。全国から19名の若い組合員が参加し、コミュニケーションの理論をもとに、「組織化のための対話」についてグループワークを行いました。最後にはみんなで話し合っ



（記 山田卓）

都労委がダウに対して 異例の要望

1月27日、東京都労働委員会は日本アクリル名古屋工場閉鎖計画に關し、同社に対し、組合との誠実な協議を行う事などを求める異例の要望書が出ました。都労委の要望書は「誠実に協議を行い、慎重に対処するなど紛争がこれ以上に拡大しないよう格段の配慮」を求める内容です。

又、ダウの企業としての倫理規定行動規範には「我々のビジネス環境の全てにおいて法律を遵守し、高い信念を持ち、社会的責任を果たす」と定められていますが、現在の会社の対応はこの規範に反しており、不誠実です。

1月30日の都労委の記者会見でアクリル支部の林委員長からは「日本アクリルは黒字で銀行借り入れもなく、内部留保も多額だ。工場は世界でもトップレベルの品質を維持してきた。労働者の生活をかえりまない会社のやり方は許せない」との訴えがありました。

驚見賢一郎弁護士からは、異例の要望書が出た背景には「経営に関する資料未開示や労働者への退職勧奨、取引先への閉鎖通知など、親会社のやり方のひどさに対するものだ」と指摘され米国本社への



都労委の記者会見の様子

（記 山田）

【今後の日程】

- 2月29日（土）
アクリル支部対策会議
- 3月5日（木）
全国一般中央行動
- 3月11日（水）
愛労連幹事会
- 3月29日～30日（日・月）
あつた支部
第9回定期総会

